

令和5年8月25日開催定例美祢市教育委員会会議録

開催日時 令和5年8月25日（金）午後1時30分から午後2時30分

開催場所 美祢市役所3階「委員会室」

出席委員

南 順子	教育長	
金子 明美	教育長職務代理者	
山田 裕治	教育委員	
松本 孝志	教育委員	

4人

欠席委員

山本 亜由美	教育委員	
--------	------	--

1人

出席教育委員会事務局職員

千々松雅幸	事務局長	
宇野 勇気	〃	教育創生監
岡崎 輝義	〃	教育総務課長
中島 幹晃	〃	学校教育課長
野村 一守	〃	生涯学習スポーツ推進課長
神田 高宏	〃	文化財保護課長兼世界シビックネットワーク推進課長
大坪 伸彰	〃	学校教育課主幹
倉増 裕	〃	教育総務課総務班長

8人

（午後1時30分）

開 会

事務局長 千々松 雅幸

ただいまより令和5年8月の定例教育委員会会議を開催いたします。

これからの進行は教育長、よろしく願いいたします。

教育長挨拶

教育長 南 順子

改めまして皆さんこんにちは。

立秋を過ぎましても厳しい残暑が続いております。

本日は猛暑の中、また突然の夕立と表現していいのか、大雨の中、8月の定例教育委員会会議にお集まりをいただきましてありがとうございます。

教育委員の皆様方におかれましては平素から大変お忙しい中、教育委員会の様々な業務への御支援御協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

ありがとうございます。

さて、本日から美祢市内の小・中学校は2学期がスタートしました。

今年の夏休みは子供たちにとって、今までコロナ感染拡大防止の影響で中止になっていた行事、イベントが復活し楽しい思い出がたくさんできたのではないかと考えております。

特に大きな事故やけがもなく、子供たちが元気に夏休みを過ごすことが何よりですけれども、この夏休みに経験したたくさんの貴重な体験を2学期から学習や様々な活動に生かしてほしいと考えております。

教育委員会主催や共催、後援等の関連行事として、水辺の教室、m i n e t o こどもキャンプ、美祢・山梨子ども交流事業、Mチャレ、ふるさと夏祭り等行いましたが、それぞれの課が連携協力をしながら大変良く頑張ってくれました。

そのおかげで、子供たちにとって魅力ある体験ができましたことを感謝したいと思っています。

署名委員の指名

教育長 南 順子

それでは、次からは着座にて進行させていただきます。

初めに署名委員の指名でございますが、本会議につきましては、松本委員と山田委員をお願いいたします。

<両名了承>

前回会議録の承認

前回会議録の承認につきましては、松本委員と金子委員をお願いいたします。御承認をいただけますでしょうか。

<両名了承>

教育長 南 順子

ありがとうございます。

冒頭報告

教育長 南 順子

それでは次の4の教育長報告ということで行事関係について、報告いたします。

7月28日の金曜日にALTの離任報告会を行いました。

今まで秋芳中校区の秋芳中、秋吉小、秋芳桂花小に勤務をされていたキム先生が任期を終えてカナダにお帰りになられるということで市長に報告しました。

後任としてイギリスのロンドンからアーミッド・モハメド・ラーハン先生をお迎えしました。

8月21日に市長への挨拶を終え、本日から秋芳中学校校区で勤務をしてもらっているところです。

8月6日の美祢・山梨子ども交流事業は台風の影響が心配されましたが、予定どおり開催することができました。

山梨市より総勢39人をお迎えし、秋吉台科学博物館の見学や萩八景遊覧船体験、家族旅行村でのバーベキューやキャンプファイヤー等、最終日には秋芳洞の見学と美祢の豊かな自然やジオパークの魅力を楽しんでいただきました。

この度、7月の災害に対する義援金として13万5,048円いただきました。

この義援金は、災害に遭った子供たちのために有り難く使わせていただきたいということで市長部局と話を進めているところでございます。

それから、8月23日に来福センターで美祢市小中学校教職員研修会を学校教育課の主催で行いました。

今、美祢市が進めております自由進度学習につきまして、今まで何度も視察に行っておりました広島県廿日市市立廿日市小学校の元校長先生をお迎えいたしまして、校長先生ご自身も進めて、そして実績を上げてらっしゃる自由進度学習について動画等を交えて講演をしていただきました。

校長先生が仰るには、次の新学習指導要領には自由進度学習の考え方が入ってくるであろうということでした。学びの主体を、子供たちにするためにはどのように取り組んだら良いかということ、そして、それを美祢市全般の教職員が共有したという事は今後、美祢市で取り組んでおります自由進度学習に良い影響を与えるのではないかと考えております。この、研修会で学んだことを各学校に持ち帰ってもらい、子供たちの実態に合わせて取り組んでほしいと考えております。

以上簡単でございますが行事関係について報告させていただきました。

教育長 南 順子

その他ということですが、何か御質問等がございましたらお願い出来たらと思います。

よろしいでしょうか。

それでは続いて、議案の審議のほうに入らせていただきます。

議題及び議事

教育長 南 順子

議案第47号、美祢市生涯学習のまちづくり推進協議会委員の委嘱及び解職について、生涯学習スポーツ推進課、お願いいたします。

はい、野村課長。

生涯学習スポーツ推進課長 野村 一守

美祢市生涯学習のまちづくり推進協議会委員の委嘱及び解嘱についてでございますが、団体から選出された2名の委員につきまして、各事業所の人事異動等により委員の変更がありましたので、委員の委嘱及び解嘱について教育委員会の承認を求めるものでございます。

なお、退職に伴う後任の任期につきましては、設置要綱第4条の規定により、前任者の残任期間の令和6年3月31日までとするものでございます。

以上でございます。

教育長 南 順子

では議案第47号について、質疑等あれば承りたいと思います。

教育長 南 順子

よろしいでしょうか。

特にないようですので議案第47号の質疑は終了させていただきます。

お諮りいたします。

議案第47号、美祢市生涯学習のまちづくり推進協議会委員の委嘱及び解職について、説明のとおり御承認いただけますでしょうか。

御承認いただけます方は挙手をお願いいたします。

<全委員挙手>

教育長 南 順子

はい、ありがとうございます。

全員賛成ということで承認されました。

引き続きまして議案第48号、美祢市魅力ある学校づくり検討委員会委員の委嘱について、教育総務課お願いいたします。

はい、岡崎課長。

教育総務課長 岡崎 輝義

議案第48号、美祢市魅力ある学校づくり検討委員会委員の委嘱について御説明します。

議案につきましては当日、クリップ止めで配布しておりますので、御参照していただければと思います。

よろしいでしょうか。

では説明させていただきます。

美祢市魅力ある学校づくり検討委員会は、急速な少子化が進む美祢市において、美祢市の将来を見据え、学校教育環境の充実、学校教育の質の維持及び向上等の課題を検討し、魅力ある学校をつくるために設置しているものです。

美祢市魅力ある学校づくり検討委員会設置要綱第3条第2項に、教育委員会が委嘱すると規定しております。

このたび設置要綱、同条同項の第1号から、第5号及び第7号に該当する、16名を委員として委嘱したいので、教育委員会の承認を求めるものです。

なお要綱第3条第2項第6号の未就学児未就学児保護者代表につきましては、現在、候補者の内諾を得ているところですが、本日、正式に決まるということですので、9月の教育委員会会議までにこの魅力ある学校づくり検討委員会が開催できるようでしたら、臨時代理で対応させていただければと思いますので御理解のほどよろしくお願いいたします。

説明につきましては以上でございます。

教育長 南 順子

では議案第48号について、質疑等あればお願いします。

教育長職務代理 金子 明美

設置要綱の第3条の第2項の7号に公募による市民という項目がありますが、今回公募で5名の方が挙がっております。

この公募の方の選任にあたって、どのようなことを通して、選考されたのか、公募はどのぐらいの人数があったのかということについてお伺いいたします。

教育長 南 順子

公募につきまして何人くらい応募があったのか、どういう基準で選定したかという事について説明をお願いします。

教育総務課長 岡崎 輝義

まず公募の選定の際に「魅力ある学校づくりとは」をテーマに800字以内で求めております。

その内容を教育委員会内で協議しまして、妥当であるというところで5名を選任いたしましたところでございます。

あと応募に関しましては、当初4名程度としておりましたけども、実際には5名ありました。定数が18名以下なので、応募された5人を公募委員として認めようということになりました。

以上でございます。

教育長 南 順子

よろしいでしょうか。

それでは議案第48号の質疑は終了させていただきます。

お諮りいたします。

議案第48号、美祢市魅力ある学校づくり検討委員会委員の委嘱について、説明のとおり御承認いただけますでしょうか。

御承認いただけます方は挙手をお願いいたします。

<全委員挙手>

協議報告等

教育長 南 順子

はい、ありがとうございます。

全員賛成ということで承認されました。

それでは6番目の協議報告に移ります。

教育総務課、お願いいたします。

教育総務課 岡崎 輝義

それでは、教育総務課より御説明させていただきます。

本日配付しております、令和5年度補正予算第3号及び第4号につきまして、御説明をさせていただきます。

A4の横長の資料となりますので、御覧いただければと思います。

まず、令和5年度補正予算第3号について御説明いたします。

1ページ目を御覧ください。

こちらは、8月2日の臨時議会におきまして、災害復旧を早急に行う必要があることから、専決処分により追加したもので、こちらは報告となります。

補正内容は、上の表の10款教育費、2項小学校費、1目学校管理費を10万2千円追加しております。

これは、6月30日からの豪雨の影響により、浸水被害を受けた麦川小学校の清掃用具など、必要備品の購入に係る経費を追加したものです。

なお、こちらの経費につきましては、復旧支援として、有限会社近藤文具美祢店から受けました、10万円の寄附金を活用しております。

また、参考までに、土砂災害のありました、於福小学校につきましても、近

藤文具美祢店より、高圧洗浄機の寄附がありました事を申し添えます。

次に、下の表の11款災害復旧費、3項教育施設災害復旧費、1目単独災害復旧費を249万7千円追加しております。

これは、同じく、豪雨によりまして、麦川小学校と於福小学校において、運動場や校舎などへの土砂の流入や、外周フェンスの破損等の被害が発生したため、災害復旧工事に係る測量設計業務に要する経費と、あとジオサイト施設の桃ノ木露天掘り跡の土砂や流木撤去に要する経費を追加したものです。

まず、報告、補正予算第3号の説明は以上となります。

続きまして、2ページ目を御覧ください。

令和5年度補正予算第4号について御説明します。

こちらは、同じく6月30日からの豪雨による災害復旧に要する経費を追加補正するものでございます。

表の11款災害復旧費、3項教育施設災害復旧費、1目単独災害復旧費を299万2千円追加しております。

これは、於福小学校の土砂によるエアコン室外機の修繕に要する経費と、城原コミュニティセンターの土砂撤去工事、あと、浸水による伊佐公園のテニスコートの人工芝の復旧工事に要する経費を追加するものです。

次に、2目補助災害復旧費を3,840万9千円ほど追加しております。

これは、麦川小学校及び於福小学校の災害復旧工事に要する経費と、豊田前公民館の災害復旧工事に要する経費を追加するものでございます。

説明につきましては以上でございます。

教育長 南 順子

ただ今の説明につきまして、御質問等があればお願いいたします。

よろしいでしょうか。

はい、それでは続きまして学校教育課お願いいたします。

はい、中島課長。

学校教育課長 中島 幹晃

1番、学校の様子について。

委員さん方の御手元に、令和5年度、各中学校区、学校運営協議会における熟議の取組という資料をお配りしておりますので御覧ください。

夏休みを利用して、各中学校区で小学生、中学生参加型の熟議を催しております。

そちらに、伊佐中学校から、残念ながら秋芳中学校区では、新型コロナウイルスの関係で中止になりましたけれども、日付とテーマ、それから参加者等を書いております。

昨年度からこのような取組が活発に行われており、今年度は特に小中一貫を意識して、小学生の参加が進んでおります。

伊佐中学校校区、厚保中学校校区。

大嶺中学校校区は、備考のところに、児童生徒の参加による熟議と書いてございますが、この中には、高校生も参加しております。

このような取組の中で、中学生の意見に、大人がアドバイスを送ったり、一緒に実現したりということで、子供たちの主体性を高めたり、自己肯定感を高めたりという活動を地域と一体となって、小中一貫して今後も推進してまいりたいと考えておるところでございます。

続きまして、2番、令和5年度、全国学力学習状況調査結果についてです。

資料は、先ほどのペーパーの次に左側、非公開と黒字で書いてございますけれども、結果になっております。

上が、小学校国語、算数の正答率を、美祢市、山口県、全国との比較で載せております。

国語、算数とも、ほぼ県、全国との平均と同等、県平均とはほぼ差がありません。

算数がマイナス1ポイントということで、昨年とも同じようなほぼ県と同じぐらいということで、一定の水準は、担保しているという状況でございます。

中学校のほうが今年度は3年に1回の英語の年でございましたので、国語、数学に加えて、英語もあります。

国語につきましては、県、全国とほぼ一緒という平均でございましたが、数学については県平均からマイナス5ポイント、英語につきましても、県平均からマイナス5ポイントということで、やや低い結果が出ております。

昨年度も数学については県よりもマイナス4ポイント低かったという状況がございますので、引き続き、数学の授業の在り方、あるいは学力の定着の工夫、このあたりについて学校と一緒に取組んでいく必要があると考えております。

具体的には、◎でどのような問題がよく出来ていたのか、△といたしまして、どのような問題でつまずきがあったのか主なものを載せております。

小学校の、算数の△の最後、100分率であらわされた割合について理解している。

県平均に比べ、マイナス8.4%、30%という概念を選ぶ問題だったんですけれども、100人に対して30人と、10人に対して3人という二つが正解で、完答したら○という問題でしたけれども、100人に対して30人、100人に対して3人と、そういうようなペアで選んでしまう。

どうしてもその100人のほうに引っ張られて、10人に対して3人っていうふうな概念、そういう割合の本質的な概念理解っていうのが出来ずに、×になっている。

そういったところで全体の33%しか正解していないという状況でした。

中学校の国語の最後、△の古典の原文と現代文の文書を対応させて、内容をとらえることができる。

これも61%の生徒しか正解しておりませんでした、全国学力調査の中に、古典が出るというのは珍しいことだったのですけれども、現代分と古典を対照して同じ言葉の、意味を見つけることが出来ていませんでした。

そのようなことで、数学について、英語についても、載せておりますけれども、数学の証明問題がマイナス12%、英語の未来形、be going toを使って未来の表現をつくるというのがマイナス11ポイントということで、このあたりも授業改善の視点として今後生かしてまいりたいと思っております。

裏面に児童生徒質問紙も同様に、県平均と比べて高いものと、県平均と比べて低いものを載せております。

小学校につきましては話し合う活動が、肯定的な答えであり、国語、算数、英語が好きですと答えた率が高く、

特に算数は、県平均よりも12.4%。非常にいい数字が出ております。

ただ、マイナスポイントとしていたしましては、△の3番目、総合的な学習の時間自分で課題を立てるとか、自分で調べて発表する。

そういったところが、やや不足しているという分析でございます。

中学校のほうにつきましては、○の三つ目、あなたの学級では、話し合いをよくし、解決方法を決めていますか。

そういったことについては県平均に比べてプラス8.3、学級活動と話し合いを各中学校が重視し始めたというよい傾向が見受けられますが、依然として、△の最後の三つ、「数学の勉強は好きですか」「大切ですか」「国語の勉強は好きですか」このあたりの数値の低さというところを子供たちの実態に合わせた授業改善というのが求められているというふうに分析しております。

続きましてあと2点をお知らせがございます。

資料の続きに別の資料で、美祢市教育委員会学校訪問予定表の修正したものをお配りしています。

大雨の影響で、中止いたしました大嶺中学校の訪問を7番として、赤字で入れております。

10月27日の金曜日の午前中に入れさせていただいたらという御提案でございます。

最後に、先月の教育委員会会議で審議していただきました、来年度からの小学校の教科用図書採択に関わる議事録につきまして、まとめたものをお配りしております。

同様に、美祢市と共同で研究した防府市や山口市とも、大まかな流れにつきましては、共有して作成させていただいておりますのでお伝えをいたします。大変ありがとうございました。

以上でございます。

教育長 南 順子

今、学校教育課の方から4点説明がございましたけれども、御質問がありま

したらお願いします。

学校訪問の予定につきましては、10月の於福小学校から順番で大嶺小学校の11月21日までとなっておりますが、この日程でよろしゅうございますでしょうか。

大嶺中学校を変更させていただきましたけれどもよろしゅうございますでしょうか。

今、下のほうに書いてますように、具体的には8時30分からの予定でございますので、又詳しいことについてはあらためまして事前に教育委員の皆様方にはお伝えしたいと思います。

よろしいでしょうか。

では、学校教育課の方は終わらせていただき、次に進みます。

はい、それでは、生涯学習スポーツ推進課お願いいたします。

はい、野村課長。

生涯学習スポーツ推進課長 野村 一守

はい、生涯学習スポーツ推進課で行っております各種事業の状況についてでございます。

口頭での説明で大変申し訳ないのですが、状況等をお話しさせていただきますと思います。

まず、mine to 子供キャンプでございます。

7月25日から4日間の日程で、秋吉台家族旅行村で行っております。

指示されて動くのではなく、自分で考えて行動するという自己決定をテーマに、実施をしたところでございます。

小学3年生から6年生が対象で、30人の小学生が参加をしてくれました。

この4日間を通じて、だんだん子供たちが変わっていく、姿が見てとれたと、いうふうな報告を受けております。

続いて、冒頭の教育長報告でもありましたが、美祢・山梨子ども交流事業でございます。

8月6日から7日の3日間、今年度は山梨市から子供たちを、美祢市が受入れて4年ぶりの対面の開催ということで、子供たちの交流が深まったというふうに考えております。

参加者につきましては、美祢市が当初16名の予定だったのですが、直近になりまして体調不良等で3名の方が欠席で、最終的に美祢市は13人の参加、それから山梨市は25人の参加がございました。

続いて、今年度から始めております。Mチャレ、チャレンジカルチャーとチャレンジスポーツでございます。

カルチャー、スポーツそれぞれ3日間で6種類ずつの様々な体験プログラムを実施しております。

カルチャーの3日間につきましては、8月23日最後に3日間全て終了してお

ります。

スポーツにつきましては今度、8月27日の日曜日、これが3日目ということでございます。

参加人数につきましてはカルチャーが14名から18名、日によって違いますけれど、それからスポーツにつきましては大変残念なのですが5名から7名の参加ということで人数がちょっと少ないという状況でございました。

どうしてもやはり子供たちを対象にするということで、夏休みの期間に実施をしたいという考えがございまして、この時期に開催したのですが、やはりスポーツに関しては、暑い時期ということでございまして、そういうこともあって、またなかなか子供たちへの周知もうまくいってなかったのかなという反省点もあります。来年は時期を変えるとか、周知方法、検討するとか参加人数を増やしていきたいというふうに考えております。

参加してくれた子供たちの感想につきましては、私も実際、現場等に行って体験している姿を見てるんですけど、みんなすごく楽しそうに、やっていたのが印象に残っています。

参加された方は、すごくいい体験が出来たんじゃないかと思っておりますので、このMチャレ、スポーツカルチャーにつきましてははですね、来年度以降もぜひ続けていきたいというふうに考えております。

スポーツにつきましてはまた冬にも3日間6種類の体験プログラムを予定をしております。

こちらについては、周知方法等しっかり検討しまして、より多くの参加者があるように行っていきたいというふうに考えておるところでございます。

生涯学習スポーツ推進課からは以上でございます。

教育長 南 順子

今の報告につきまして御質問等がありましたらお願いいたします。

教育長 南 順子

また来年度に向けて是非こういうふうな取り組みも、あったらどうかという御意見もありましたらお願いいたします。

委員 松本 孝志

ちょっと気になっていたのが、去年も子どもキャンプをやられたじゃないですか。

秋吉台のほうで、結構熊が出ますよね。

あれがどうなのかというのは去年もちょっと気になっていたんですよ。

かつて熊が通った写真が撮影されたということもあったし、その辺のところの安全対策というのか、どういうふうにされているのか、されようとしている

のかというところが、ちょっと気になっていたので教えてください。

教育長 南 順子

宇野創生監をお願いします。

教育創生監 宇野 勇気

はい、参加者として感じたことと、実施を委託しているところと確認をしたことをあわせてお話をさせていただけたらと思います。

事前の話として、子どもを単独行動させないというのがまず一つ大前提かなと思います。

その上で、実際に山の中に入るプログラムというのは限られていまして、龍護峰に登頂するところを除いたら、基本的には秋吉台の家族旅行村の中でも割と平坦な部分というか、その山まで入らなければ大丈夫というところを、家族旅行村の村長さんとも確認し、そこは前提として考えた上で、子供たちを単独行動させないというところの、二つかなと思います。

熊の出没に関して申し上げますと、多分、秋吉台の周辺に限らず美祢市全体である意味リスクのあることのかなとは思っておりますので、そういう対応で今考えておりました。

教育長 南 順子

よろしゅうございますでしょうか。

今、美祢市全体で、家族旅行村でも熊が日中に出現したとか、色々ありましたので、今は宇野創生監が申しましたように安全については十分配慮しながら対応しております。

御意見ありがとうございます。

他に何かご質問等ございましたらよろしくお願いたします。

それでは次の文化財保護課に進ませていただけたらと思います。

はい、神田課長。

文化財保護課長 神田 高宏

それでは、文化財保護課からは、2点御報告させていただきます。

1点目は文化財保護審議会の開催についてでございます。

8月31日の木曜日に、令和5年度第1回文化財保護審議会を開催いたします。

文化財保護審議会は、美祢市内にある文化財の保護及び活用に関する重要事項について調査審議する組織であります。

今回新たに、文化財の指定や、指定解除する物件はございませんが、市内に存在する歴史資料などの散逸防止や、活用方法について協議いたします。

続きまして2点目の、第20回、長登銅山跡調査及び整備委員会について御報告いたします。

来月、9月8日の金曜日、長登銅山文化交流館において開催いたします。

今回の委員会では、令和6年度以降の整備計画について協議いたします。

特に、長登銅山跡の保存活用計画を作成することで国庫補助対象事業となるため、これまでは平成23年度に策定いたしました長登銅山跡保存管理計画という計画がございましたが、その計画との整合性をとりつつ、それ以降の調査で、新たに分かった長登銅山の本質的価値を盛り込み、それらを分かりやすく市民や観光客に伝えるための計画を作成していくということにつきまして協議を行うこととしております。

文化財保護課からは以上でございます。

教育長 南 順子

ただ今の報告につきまして、御質問等がありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

はい、それでは、世界ジオパーク推進課、お願いいたします。

はい、神田課長。

世界ジオパーク推進課長 神田 高宏

はい。それでは、世界ジオパーク推進課から1点御報告いたします。

台湾地質公園学会訪問団の美祢市訪問について、御報告いたします。

8月18日、19日の2日間、台湾から九つの地質公園の関係者、また研究者、台湾の国の関係者から成る台湾地質公園学会訪問団36名が美祢市を訪問されました。

2019年以降、2回目の訪問、訪日となります。

18日には、美祢市長表敬訪問また、Mine秋吉台ジオパークとの意見交換会、19日には、秋吉台、秋芳洞のジオツアーを体験していただきました。

特に、意見交換会におきましては、Mine秋吉台ジオパーク推進協議会の学識顧問、委員でございます山口大学の教員も参加されまして、今後の学術連携についても、意見が交わされたところでございます。

これを機会に、さらに台湾の地質公園との学術交流、教育交流を深めていきたいと考えております。

世界ジオパーク推進課からは以上でございます。

教育長 南 順子

ただ今の報告につきまして、御質問等がありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

教育委員からの提案及び意見

教育長 南 順子

よろしいでしょうか。

はい、それでは全体を通じまして何かございますでしょうか。

それでは7番目の教育委員の皆さんからの提案及び意見に移ります。

月一回、お集まりいただいております。

折角の機会ですので、どんなことでも構いませんので、皆様からお気づきとか御意見いただけるとありがたいと思っております。

何かありましたらお願いいたします。

教育長職務代理者 金子 明美

東京は雨ですけども、先日、新潟でしたかね、小学校2年生の女の子が熱中症で亡くなるという悲しい事件があったかと思えます。

春に運動会が行われた学校が随分あったかと思えますが、これから9月、それから地域との関係で10月とかに運動会を行われる学校もあるかと思えます。それから体育等で外で動くこともあるかと思えますが、本当今年は例年以上に気温が高くて、自分たちの想像している以上に、やっぱり子供たちへの配慮、本当気をつけておられると思えますけども、そういう状況を鑑みて今までもそうでしょうけども、安心安全といえますか、御配慮いただけるとありがたいなというふうに思えます。

以上です。

教育長 南 順子

ありがとうございました。

国連の事務局長さんが「地球温暖化ではなくて地球沸騰化の時代になった」と警告していますが、私たちが予測していない事態になっていまして、今ご指摘いただきました高温の危険といえますか、対策について十分に気を付けなければいけないと思っております。

何か学校教育課の方ありましたらよろしくお願いいたします。

学校教育課長 中島 幹晃

はい、失礼いたします。

痛ましい事故が続いておりました、帰宅途中に中学生が亡くなった後に、国県のほうから、通知が来て、各学校にも注意喚起をしております。

そのあと、熱中症対策用の危機管理マニュアル案を、県が送ってきてくれて

います。

それも学校と共有しておりますので、この県の案を、たたき台として、各学校が今作成している危機管理マニュアルを、熱中症対策という視点から見直すように今指示を出しておるところでございます。

また、北海道の事件を受けてさらに、昨日も通知が国や県から来ましたので、それについても昨日のうちに学校に周知しております。

ただそれだけではなく、金子委員さんおっしゃってくださったように中学校の運動会が、9月の頭が3校、9月の末が2校、実施予定になっておりますので、特に9月の頭に実施する学校については、今1度、教育委員会のほうからも熱中症対策について呼びかけていきたいと思っております。

ありがとうございました。

教育長 南 順子

他に何か委員さんの方からございますでしょうか。

もし何かございましたらお伺いしたいと思いますけれども。

ないようでしたら、事務局のほうに返させていただきます。

次回の教育委員会会議の開催予定

事務局長 千々松 雅幸

続きまして9月の定例会についてでございます。

記載のとおり9月の教育委員会会議は9月27日水曜日、13時30分からここ、委員会室で開催したいというふうに考えております。

10月以降については、記載のとおりでございます。

御都合よろしいでしょうか。

場所につきましては10月いっぱいはこちらでやるようになると思っております。

11月以降新しい庁舎で、教育委員会、11月の3、4、5が引っ越しの予定でございます。

教育長 南 順子

すみません。

10月の教育委員会会議が10月25日水曜日となっておりますが、実はその翌日が、令和5年度、県の教育委員会協議会研修会となっておりますが、前日で大丈夫ですか。

委員の皆様におかれては2日間連続でご出席いただきますが、ご予約の方はよろしゅうございますでしょうか。

<全員了承>

教育長 南 順子

10月の発表につきましてはまた9月の教育委員会会議の時に、皆様方から御意見をいただけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。

閉会

事務局長 千々松 雅幸

以上をもちまして令和5年8月の定例教育委員会会議を終了とさせていただきます。

どうも皆さんお疲れでございました。ありがとうございました。

(午後2時30分終了)

令和 年 月 日

教育長

委 員

委 員

会議録作成